故 榎本基副議長

榎本副議長を偲んで

新緑会代表　堀江　美夫

今年も半年が過ぎ、折り返し点となった7月1日早朝、私の所にとても残念な知らせが入りました。榎本基副議長が逝去された旨の奥様からの電話でした。長く会派の同士として活動させて頂き、教えを請うて来た先輩議員の悲報には、断腸の思いであり、無念でもあります。

過去の慣例によりますと、現役議員の死去の際は、議会として同期の議員が故人に追悼の言葉を捧げる事になっておりますが、故人の同期の方は既に引退され、おりませんので、不肖、会派代表の私が、追悼の言葉を捧げさせて頂きます。

榎本さんは幕別町の出身で、すぐ隣の家は前札幌市長、上田文雄氏の実家で幼馴染みとの事。お父様は幕別町の助役でした。以前、当時の部下の方から話を聞いた事がありましたが、部下思いで、宿直をしていると差し入れを持って訪れ、職員の話に耳を傾けてくれた方だったとの事。その血を引く榎本さんは、昭和44年、学校事務職員として奉職されました。飄々（ひょうひょう）とした表情が安心できるためか、同僚の教職員からは色々な相談をうけ、子ども達の面倒見も良く、野球部、ソフトボール部等の顧問を務められました。全国レベルになった音更中学校ソフトボール部の教え子が、雄飛が丘ソフトボール場での合宿中には、差し入れの希望を聞き、希望のあったまだ旬ではないスイカを私が買いに走らされた事もありました。とても心優しき、憎めない人でした。

定年を前に退職し、周囲の後押しもあり、平成19年の音更町議会議員選挙に見事当選され、現在は4期目でありました。経済建設常任委員会副委員長、議会運営委員会委員長等の要職を務め、平成31年1月からは副議長を務めており、豊かな見識で見事なリーダーシップを発揮され、4期14年間の長きにわたり町政に参画され、地方自治の進展と町民福祉の向上のため、全身全霊を持って取り組んで頂きました。現在も、人口減少社会に向かう中、第6期総合計画等調査特別委員会の委員長として、誰もが住み良い町を実現するための調査に当たられており、その実直なお人柄は議会運営の要として大きな信望を集めておりました。

これまで、榎本さんが気にかけていた子育て環境や教育環境、高齢者福祉の充実など、数々の難問を解決するためには、まだまだ沢山のお知恵を借りる必要があったのに、残念でなりません。私達は榎本さんの尊い御遺志を継承すべく、誠心誠意、地域社会の発展に努めたいと思います。

榎本さん。こよなく愛された御家族と同様に、音更町を温かく見守って頂きますようお願いし、心から安らかなる御冥福をお祈り申し上げます。

榎本基副議長逝去

町議会副議長榎本基氏が、7月1日、胆管がんのため逝去されました。3日には榎本家、音更町議会議員会の合同葬をもって葬儀が執り行われました。享年73歳。合同葬には、多くの参列者が集まり、故人を偲びました。

短大生に語りかける 故 榎本基副議長